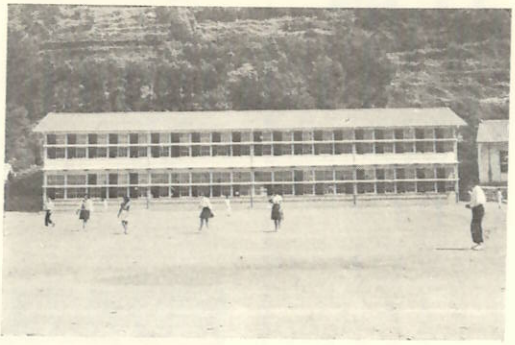
広報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話91番

伊方中学校改築事業完成

総事業費 1450万円

くるしい町財源、国の補助金、起債、又町外で活躍中の郷土出身者の郷土愛による浄財、校区父兄の協力と相まって昭和三十五年度の大きな事業の一つ伊方中学校増改築事業が完成しました。近代的建築様式による普通教室、科学教室にふさわしい理科室、各種の器械を利用して技術を身につける技術室、女子のための調理室裁縫室の改造の完成と相まって校庭の拡張工事と教育向上になくてはならないものが出来あがった二千四百五十万の巨費を投じた本事業を紹介する。



写真説明
新装なり木の香もかほる普通教室の全景

普通教室

現在迄十二教室であったものが、今度の増改築で十四教室出来あがった。

三十五年、三十六年、三十七年度と生徒数の自然増で、生徒を收容することが出来なかったが、これで最高期の三十七年度をむかえても完全に收容出来ることになります。木の香も新しい教室で勉強する生徒は希望にあふれ、真剣に勉強しています。

家庭科室

女子のための家庭科教育を推進するための裁縫室、調理室が出来あがった。

裁縫室にはミシン十数台がならび又調理室にはモダンな調理台十一台が整然とならび今後の家庭科教育にふさわしいものです。

将来の社会人、家庭人となるものの研さんの場として期待されます。

理科室

時代の要求に即応するための理科室は、一つ一つに据付けられた水道カラン付の実験台が十二台整然とならび、将来のよき化学者の養成、研さんにふさわしい設備であります。

又理科実験用具、電気器具、鉱石類、各種薬剤、人類、鳥類、獣類などの標本、地球の四季、干潮、満潮、など各測定する天体運向儀などがあります。

技術室

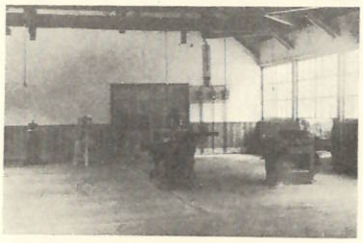
新時代の要請に応ずるため又、こんど技術教育振興に大きな役割を果たすものとして期待される技術室は、卓上ボール盤、自動面鋸機（カンナ）丸鋸盤（昇降盤）角のみ機、足踏糸鋸機、電動糸鋸機、両頭グラインダー（研磨器）が備えられ、又旋盤も据えつけられています。

独立した技術工作室を新設したのは郡内十五校の内保内町宮内中についで二番目です。

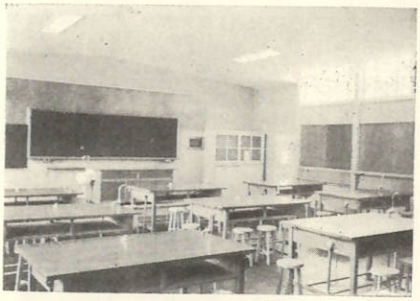
校庭の拡張

活動旺盛な中学生に十分な活動をさせるための拡張がおこなわれた現在の運動場坪数は八六〇坪でありましたが、今度の拡張で危険校舎跡一八六坪買收地など六七〇坪、拡張後は一七一六坪となりました。

この拡張により伊方町でも始めて西宇和郡陸上競技大会が、伊方中学校で実施されることが決定しています。



技術室の内部 （写真説明右より）
①卓上ボール盤（カバーをしたもの） ②自動面鋸機（カンナ） ③丸鋸機（昇降盤） ④角のみ機（丸鋸機の後方高いもの） ⑤足踏糸鋸機 ⑥電動糸鋸機 この写真以外に両頭グラインダー（研磨機）があり、旋盤も据付けられています。



写真説明
理科室の内部この様な机が12ケ配列されている

町民の協力に感謝

伊方町長 川口寛之

川口町長

伊方中学校区の多年の念願でありました危険校舎の改築二百三十七坪（八教室）不正常解消教室九十六坪（三教室）技術工作室五十坪（一教室）合計三百八十八坪運動場拡張八百五十六坪の工事費一千四百五十万円の巨額な建設費を投じまして昨年九月より着手茲に落成式を行い町民各位とその喜びをわかちあうことの出来ましたことは喜びにたえないものがあります。

今回の校舎建築に当りまして職業教育として理科、家庭科、工作などに重点を置きましたのでありますが、県、国の当局者の特別な配慮を得且つ又郷土出身の方々より寄せられました多額の寄附金、校区父兄の理解ある負担金を出していただき立派な校舎機械施設が出来ましたことは責任ある町長として限りない喜びであります。

「居は人を作る」と申しますが木の香り新な近代的な明るい通風採光のよいこの校舎に学ぶ生徒達に思い致しまして時将来に於て何か期待するものありと内心喜びを感じる次第であります。

教育に関心寄す人達の多い地域には必ず人材出すと云われます。この意味に於きましては校区の父兄の皆さんの御子弟の中から必ず次代を背負って有名人の輩出することを私は期待しその日の近からんことを心に期しております。

町民の喜びを喜びとして中学校舎落成に当り御理解ある御協力を謹しんで感謝致します。

6月の税金

町民税
保険税
固定産資税
納期 6月末日まで

伊方中学校舎 建築寄附者御芳名

ブロック別（アイウえオ順） 敬称略

阪神中国地区

神戸市	岡 新	三〇〇〇円
兵庫県	尾上 嘉久	二〇〇円
大阪市	門 福太郎	五〇〇円
広島市	木戸 熊吉	一〇〇〇円
〃	〃 木戸 信重	〃
〃	木戸市太郎	五〇〇円
大阪市	佐々木信義	一〇〇円
尼崎市	清水 春義	五〇〇円
大阪市	中川 博夫	五〇〇円
神戸市	兵頭 忠	三〇〇円
大阪市	浜野上徳秋	二〇〇円
芦屋市	早野 哲哉	〃
広島市	堀口 輝広	三〇〇円
〃	堀口 実	五〇〇円
大阪府	松沢 守	五〇〇円
〃	矢野 定久	三〇〇円
大阪市	山下 恵敏	二〇〇円
神戸市	宮崎 展昌	二〇〇円
大阪府	矢野新太郎	五〇〇円
〃	結城 平明	二〇〇円
〃	米井 忠孝	五〇〇円
尼崎市	渡辺 行義	二〇〇円
〃	宮崎 国義	一〇〇円
〃	延岡市 居村 才治	五〇〇円
〃	宇部市 稲月 辰志	一五〇円
別府市	稲月 頼久	一五〇円
〃	上田 幸太	三〇〇円
延岡市	尾上 清春	一〇〇円
戸畑市	小笠原壮吉	一〇〇円
大分市	緒方 貴	一五〇円
別府市	大星 喜清	二〇〇円
〃	菊池与三郎	一〇〇円
大分市	木戸 義満	一〇〇円
福岡県	栗田 朝夫	一〇〇円
門司市	小林 達男	一〇〇円
延岡市	篠川 福義	二〇〇円
杵築市	新興大浜出身者一同	五〇〇円
別府市	篠沢 利治	二〇〇円
〃	竹内 一重	三〇〇円
〃	宇和島市 阿部 光義	一〇〇円
〃	北宇和郡 阿部 岩雄	五〇〇円
〃	高知県 上田 短義	一〇〇円
〃	八幡浜市 河野市左エ門	二〇〇円
〃	八幡浜市 篠川 隆徳	一〇〇円
〃	神野 四郎	三〇〇円
〃	松山市 高門助治郎	一〇〇円
〃	上浮穴郡 高門菊之佐	二〇〇円
〃	南宇和郡 谷口万一郎	一〇〇円
〃	宇和島市 高村 道高	二〇〇円
〃	北宇和郡 谷口 福松	五〇〇円
〃	八幡浜市 竹内 兵衛	五〇〇円
〃	福田 直義	二〇〇円
〃	福田 萬雄	一〇〇円
〃	山口 清一	二〇〇円

関門九洲地区

宮崎県	阿部 国義	一〇〇円
〃	延岡市 居村 才治	五〇〇円
〃	宇部市 稲月 辰志	一五〇円
〃	宇和島市 阿部 光義	一〇〇円
〃	北宇和郡 阿部 岩雄	五〇〇円
〃	高知県 上田 短義	一〇〇円
〃	河野市左エ門	二〇〇円
〃	篠川 隆徳	一〇〇円
〃	神野 四郎	三〇〇円
〃	高門助治郎	一〇〇円
〃	高門菊之佐	二〇〇円
〃	谷口万一郎	一〇〇円
〃	谷口 福松	五〇〇円
〃	竹内 兵衛	五〇〇円
〃	福田 直義	二〇〇円
〃	福田 萬雄	一〇〇円
〃	山口 清一	二〇〇円
〃	吉本ナナエ	一〇〇円
〃	渡辺 虎夫	一〇〇円
〃	渡辺 昭二	三〇〇円

四国地区

神戸市	岡 武田 毅熾	一〇〇円
兵庫県	尾上 谷藤利弥男	一〇〇円
大阪市	門 田中 喜一	五〇〇円
大阪市	田中 岩辻	四〇〇円
〃	荒友	一〇〇円
〃	中崎 次郎	一五〇円
〃	中川 古見	一三〇円
〃	福岡市 西本 松芳	一〇〇円
尼崎市	下関市 林 繁義	一〇〇円
大阪市	浜中 高松	二〇〇円
神戸市	大分市 樋田 馬高	一〇〇円
大阪市	別府市 福井 昭信	三〇〇円
芦屋市	門司市 藤本 幸吉	一〇〇円
広島市	別府市 松本松太郎	一〇〇円
〃	舟田 清	二〇〇円
〃	福岡県 宮脇栄左エ門	二〇〇円
〃	延岡市 宮崎 展昌	一〇〇円
〃	別府市 宮本 利男	三〇〇円
〃	日向市 宮本 要	一〇〇円
〃	杵築市 三光坊開拓団一同	五〇〇円
〃	延岡市 山口 降昭	一〇〇円
〃	別府市 山口 悟	一〇〇円

陸・海・空 自衛官募集

受付 6月1日から7月11日まで
資格 18歳以上 25歳未満の男子

くわしいことは総務課自衛官係にお問合せ下さい

引揚者給付金

一部改正のお知らせ

引揚者給付金等支給法の一部改正がありましたので該当者は役場まで御連絡して下さい。

(1)南洋郡島又は政令で定める地域（旧蘭領東印度支那、比島シンガポール及びマライ等）にそれぞれ昭和十八年十月一日又は政令で定める日まで引続き六ケ月以上生活の本拠を有していた者で今次の大戦に関連する緊迫した事態に基づく日本国政府の要請等により当該期日以後終戦前に本邦に引き揚げたもの又は同様の事情にあった者で引き続き外地にある間に死亡したものを新たに支給対象となりました。

(2)時効期間が一年延長となりました。

延長期間昭和三十七年三月三十一日まで。

ラジオ聴取料

身障者は免除

日本放送協会（HNK）では、四月から身体障害者（視覚障害者）一、二、三級該当）のいられる家庭、または身体障害者であり、生活が困っている家庭のラジオ聴取料は、徴收しないことにしました役場ではこの放送聴取料の免除申請を受付けていますから該当者は早目に申請して下さい。

人事異動

役場職員の人事異動が四月一日付で發令されました。

（新任）	（氏名）	（旧任）
総務課	脇田 道	厚生課
厚生課	佐々木雄久	国保課
〃	二宮 一	税務課
国保課	岩見 正志	〃
〃	田中 発	〃

明るい一家

ぼくらの作品

おてつだい

伊方小学校三年雪組　篠川貞子

わたしは、こたのはまの、三つのひさしちゃんと、四つのきみちゃんをつれてきました。そして山へいってひさしちゃんがなきだしたので山へおりてきました。ひるごろ山からおばちゃんがかえってきておのまえにいくとちゅうきみちゃんが、「おしっこがしたい」といったので、わたしは、あたりのはのところでおしっこをひらしました。

わたしは、こたのはまの、三つのひさしちゃんと、四つのきみちゃんをつれてきました。そして山へいってひさしちゃんがなきだしたので、わたしは顔が赤くなってきました。そして山へいってねむってきたのでまたかへるとおひるになりました。

☆

おかあさん

九町小学校三年花組　菊池恵美子

おかあさんは、いそがしくて、じっとして、いない。じたばた、じたばた、している。

☆

雨ふり

九町小学校三年雪組　松田美恵子

雨かザーザーふっていたうんどうじょうはあわが出ていた雨の音は　まるできかいが

こはんも、あとから、たべる。ばんはおそくまで、おきている。

人が、何かしていると、すぐ「わたしが、する」という。おかあさんは、病気になった、ことがない。わたしは、おかあさんはどくろうだなあと思う

まわっているようだ大雨になったらどこまでぬれる。うんどうじょうはビチャビチャしていて、気もちがわるい。長ぐつのあしあとが、ひとつもなかった。学校へ来る人を時々見ると かさをななめにしている人がいる。朝は大雨なんかふるようにもなかったでも空がくもっていた。

町の日誌

4月9日　伊青協総会開く　伊方町青年団協議会の第七回総会が伊方小学校で開かれ、新役員を選出した。

- ⊙会長　城　哲雄
- ⊙副会長　二宮　定正、池田大郎　堀田トモ子、山口幸子
- ⊙事務局長　菊池芳太郎

4月22日　町職組定期総会開く　伊方町職員組合の設立後二回目の総会が開かれ新役員を選出した。

- ⊙執行委員長　二宮　一
- ⊙副執行委員長　山口　和哉
- ⊙書記長　市尾　隆志

4月27日　慰霊祭を挙行　日清日露の戦役日支事変、大東亜戦争と戦没者の慰霊祭が、神式により八幡神社境内忠霊塔前で開かれ、遺族、来賓多数が出席して盛大に行なわれました。

写真は出席した遺族の方々

4月27日　海外移住座談会開く　伊方町豊ノ浦出身の渡辺亀松氏、保内町梅浜出身の百合栄氏が、ブラジル、イビウナ市より30年ぶりに帰国されたのを機会に海外移住座談会を開催しました。渡辺氏はイビウナ市で、トマト、ジャガイモの栽培養鶏を主にやっておられ、経営面積は約50町歩又百合氏は、ジャガイモ 3,000町歩を栽培する外放牧をやり、ブラジルでは成功者であり、指導者です。又現地の模様を記録した映画も上映され、その中に伊方町九町奥出身の川縁栄一氏も元気で活躍されていました。又以前町見中学校で先生をやっておられた。檜山先生も現地の学校で教壇にたっておられました。

写真は渡辺亀松氏

5月1日　産業振興座談会　四宇和選出川口、宮本両県議、八幡浜市選出の清水、兵頭県議をむかえ、地元よりは、町議、区長、各種団体長が出席して、伊方町産業振興のための具体策を積々話し合い盛大であった。

5月6日　向部落子供会開く　部落を明るくするためには、まず子供のよりよい生活環境からと、民生委員、堀内秋好氏の提唱で開催され、民生委員から、明るい生活をするための話又幻灯（三大の東京見物）などを映写した。

写真会は子供会に出席したよいこ

6月7日　青年すもう大会　町青年団協議会主催の、すもう大会が、大浜、中ノ浜、仁田ノ浜、湊浦、河内、小中浦、中浦、川永田、豊ノ浦の9青年団45名が参加して開かれた。

団体		
優勝	中ノ浜青年団	得点30点
二位	川永田青年団	得点30点
三位	小中浦青年団	得点28点

◎中ノ浜、川永田は同点決勝の末中ノ浜青年団が前年につづき優勝した。

個人		
優勝	藤上清光	川永田7勝1敗
二位	松岡賢一	湊浦　7勝1敗
三位	大森次郎	河内　7勝1敗

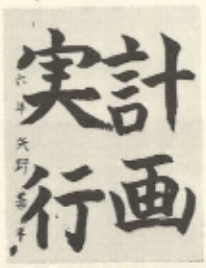
◎三人共同点のため決勝戦で順位を決定しました。

5月13日　道路愛護デー　道路愛護週間の行事として伊方、町見両交通安全運転者協会、並に一般参加者によって道路の整備をしました。当日は300人 三輪車30台が参加しました。

写真は当日の作業状況（湊浦）

習字

九町小学校六年
松田育子（久保）



伊方小学校六年
矢野善平（中浦）

町見中学校二年
佐々木良繁（奥）

伊方小学校五年
矢野悦子（小中浦）

人

昭和36年5月1日現在
世帯数　2,593
人口　12,557（男 6,077　女 6,280）

婚姻（四月届分）

出生（四月届分）

死亡（四月届分）